

みる・しらべる・つながる『わかやま生き物クラブ』

「わかやま生き物クラブ」は、環境教育や環境保全などの活動をおこなうメンバーが発足人となって、自分の調べたい課題やテーマを持ち、生き物や自然環境、人との関わりや文化・歴史などを継続的に観察・調査をおこない、情報を共有したり発信しあう任意団体です。子どもから大人まで誰でも参加することができます。今回は、岩出図書館周辺の自然を観察するイベント「われら!! 生き物調査隊」におじゃまし、松本朱実さんにお話をうかがいました。

アクティブラーニングで
自発的な学びを!

ポケットからいっぱい道具が出てくることから「Pocketさん」という愛称で親しまれている松本さんは、動物園の動物や教育を研究されています。PBL(問題解決型学習)のプロセスを使い学習の枠組みを作り、動機付けから再考までをおこなうプログラムづくりをしています。単に楽しいだけでなく、終わるのではなく、きちんと学べるように活動を組み立てています。

子どもたちの興味を
知ることが教える側にとっても大切なこと
「親御さんも楽しんでほしい」と松本さんは話します。今回の「われら!! 生き物調査隊」の参加者も、生き物調査マップや子ども鑑、感想が、12月1日までの商店街で開催される「おもしろ環境まつり」で展示されます。

今回の「われら!! 生き物調査隊」の参加者も、生き物調査マップや子ども鑑、感想が、12月1日までの商店街で開催される「おもしろ環境まつり」で展示されます。

今回の「われら!! 生き物調査隊」の参加者も、生き物調査マップや子ども鑑、感想が、12月1日までの商店街で開催される「おもしろ環境まつり」で展示されます。

今回の「われら!! 生き物調査隊」の参加者も、生き物調査マップや子ども鑑、感想が、12月1日までの商店街で開催される「おもしろ環境まつり」で展示されます。

今回の「われら!! 生き物調査隊」の参加者も、生き物調査マップや子ども鑑、感想が、12月1日までの商店街で開催される「おもしろ環境まつり」で展示されます。



「子どもに大人の知識を押し付けず興味や考えを引き出す支援をしたい」という松本さん。「図鑑などで知識が豊富になりわかつく

「子どもに大人の知識を押し付けず興味や考えを引き出す支援をしたい」という松本さん。「図鑑などで知識が豊富になりわかつく

「子どもに大人の知識を押し付けず興味や考えを引き出す支援をしたい」という松本さん。「図鑑などで知識が豊富になりわかつく

「子どもに大人の知識を押し付けず興味や考えを引き出す支援をしたい」という松本さん。「図鑑などで知識が豊富になりわかつく

「子どもに大人の知識を押し付けず興味や考えを引き出す支援をしたい」という松本さん。「図鑑などで知識が豊富になりわかつく

「子どもに大人の知識を押し付けず興味や考えを引き出す支援をしたい」という松本さん。「図鑑などで知識が豊富になりわかつく

『生き物マップとみんなの図鑑』展示
今回の取り組みの成果が紹介されます。
期間：12月7日(土)～1月5日(日)
木曜日、年末年始、祝祭日の翌日は休館日
場所：岩出図書館展示コーナー
問い合わせ：岩出市立岩出図書館 0736-62-7222

約70団体が出展! 「おもしろ環境まつり」
12月1日(日)10時～、みその商店街で開催!
「おもしろ環境まつり」は、環境について、様々な学びや体験をすることができるイベント。「気候」「エネルギー」「3R」「生き物」「食べ物と水」の5つ分野にわかれて約70団体が活動展示や体験ブースを出展。桂枝會丸さんと学ぶ防災・環境クイズ、ステージイベントなども。
詳しくは <https://wenet.info/ok/> をご覧ください。お問い合わせは実行委員会(073-499-4734)まで。

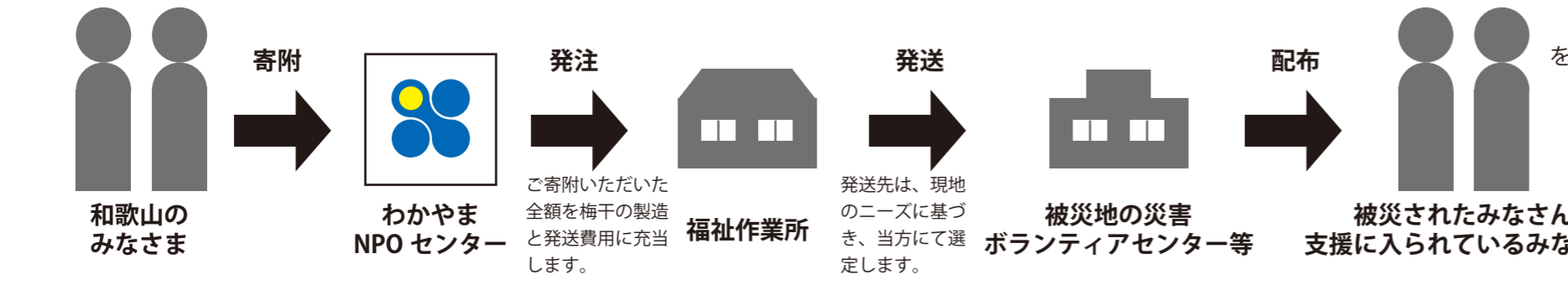
2019年台風19号被災地に紀州の梅干を贈ろうプロジェクトを実施しています

このたびの豪雨災害で被災されたみなさまに心よりお見舞い申し上げます。昨年の西日本豪雨を上回る広い範囲が被災しただけではなく、夏の佐賀県での水害、台風15号に伴う千葉県での暴風被害に続く大規模災害となり、復旧・復興に携わる人手が慢性的に不足しているという声があがっています。

8年前に紀伊半島大水害を経験した和歌山県から、被災地へ少しでも恩返しができるように…そんな想いで「紀州の梅干しを贈ろうプロジェクト」を実施します。2016年熊本地震、昨年の西日本豪雨に引き続き3回目。西日本豪雨の被災地では避難されている方、ボランティアの方に非常にご好評をいただきました。この「梅干し」プロジェクトにみなさまのご支援をいただきますよう、お願いいたします。

支援の内容
1口3,000円からのご寄附をわかやま NPO センターにて承っております(今回は、3,000円で約50個の南高梅を現地にお届けできる見込みです。12月中旬頃に福島県いわき市にお送りする予定です)。
いただいたご寄附を元に、和歌山県内の福祉作業所に梅干の包装・発送作業を発注し、被災地のニーズ等に基づき、災害ボランティアセンターにお届けします。災害ボランティアセンターでは、被災者のみなさん、支援に入られてみなさんなどの状況に応じて、柔軟に梅干を活用いただく予定です。
なお、このご寄附は確定申告により、所得税等の税額控除の対象となります。

ご支援の方法
ご支援の方法は2通りあります。
【クレジットカード決済】
わかやま NPO センターウェブサイト (<http://www.wnc.jp/>) から、特設ページにアクセスし、手続きをおこなってください(クレジットカード決済時には、無料の会員登録が必要です)。決済手数料はわかやま NPO センターが負担します。
【振替口座・ゆうちょ銀行】
振替口座「口座番号 00910-0-188998 特定非営利活動法人わかやま NPO センター」へ入金下さい。銀行口座等からの振込の場合は「ゆうちょ銀行〇九九店(ゼロキユウキユウ店) 番号当座 0188998 特定非営利活動法人わかやま NPO センター」をお願いいたします。恐れ入りますが振込手数料はご負担下さい。
領収書発行の都合上、住所・お名前・連絡先・梅干し寄附であることを通信欄に記載いただくか、メールにてお知らせください (info@wnc.jp)。



※梅干は被災されているみなさん、支援に入られているみなさんの健康維持だけではなく、被災されているみなさんへの配布活動を通じた見守りや悩み事への聞き取りなどの取り組みにも役立てることが可能です。
※梅干は個包装となっているため、現地の事情に応じて柔軟に配布することが可能です。